

刊行のこぼ

文献資料集成〈学校から仕事への移行〉の形成—日本の制度・実践・メディア

木村 元(一橋大学特任教授)

現代は、学校から仕事への移行関係が過渡段階にあり、模索の時期にあるといえるのではないか。学校を出て仕事に就くという、これまで当たり前のように学校と企業社会がつながっていた時代が大きく動揺している。これからの学校と仕事との関係を考える上でも、あらためて両者の関係がどのように作り上げられてきたかを遡りそ性格を押さえることで、現在の学校から仕事への移行の歴史的な位置を確認することが求められている。日本における学校から社会への移行関係は、両大戦間を経て戦後本格的に拡大され、一九七〇年代頭には確立する日本型企业社会において作りあげられる。そのなかで学校は、一方的に社会の要求に対応するだけでなく、独自に対応の論理をつくりあげていったことによって、固有な接続関係が生み出されたといえよう。本資料集成は、この間の学校の制度基盤や性格を押さえながら、日本の〈学校から仕事への移行〉の形成がどのようになされていたのかを探ろうとするものである。

各巻収録一覧

導入解説

第1巻 産業教育史

産業教育七十年史 文部省(雇用問題研究会、1956年)

第2巻 産業教育史(資料編)

産業教育七十年史(資料編) 文部省(雇用問題研究会、1956年)

第1巻、第2巻〔解題〕

第3巻 戦時下・戦後改革期の進路指導

新学制下の進学指導 文部省国民教育局監修文政研究会編(新紀元社、1944年)

新制高等学校実施の手引 文部省学校教育局編(教育問題調査所、1948年) 国立教育政策研究所教育図書館所蔵)

新制高等学校教科課程の解説 文部省学校教育局編(教育問題調査所、1949年)

中学校高等学校職業指導の手引 文部省初等中等教育局(日本職業指導協会、1949年)

第3巻〔解題〕

第4巻 新制中学校と職業指導

新制中学教育指針 文部省関係各課長合著(教新社、1947年)

小学校・中学校教師のための学習指導必携 一般編 初等教育研究協議会(日本教育用品協会、1947年)

小学校・中学校教師のための学習指導必携 各科編 初等教育研究協議会(日本教育用品協会、1947年)

学校で何を学ぶか—新教科の研究

勝田守一・石森延男・島田喜知治・木宮乾峰(新経営社、1948年)

第4巻〔解題〕

第5巻 職業教育並びに職業指導委員会・中央産業教育審議会関係文書(附録 佐々木享・名古屋大学リポジトリ未収録資料)

職業教育並びに職業指導委員会/職業教育及び職業指導審議会関係文書

大田周夫旧蔵資料(国立教育政策研究所教育図書館所蔵)

森戸辰男関係文書(広島大学文書館所蔵)

戦後教育資料(国立教育政策研究所教育図書館所蔵)

国立公文書館所蔵文書

辻田力旧蔵資料(国立教育政策研究所教育図書館所蔵)

厚沢留次郎文書(国立教育政策研究所教育図書館所蔵)

中央産業教育審議会中学校産業教育専門部会議事録及び関係文書

高校職業学科の教育学 佐々木享(私家版、1996年)

技術・職業教育教員養成史研究の現状と課題(研究ノート) 佐々木享(2002年)

第5巻〔解題〕

※収録した原本書籍の状態によっては、文字の欠落や擦れ、頁の汚損等が見られます

●表示価格は税抜きです。

2022年12月